

こんにちは



第 104 号
6月定例会
令和5年7月20日

豊丘村議会 です

好天に恵まれ
6チームが参加
(第1分館夏季球技大会)

定例会及び臨時会本会議審議の様子	2～5ページ
各委員会報告	6～10ページ
一般質問	11～21ページ
南信州広域連合・北部事務組合議会	22ページ
議会の日程(報告と予定)	22ページ
フォトコーナー	23ページ
裏表紙 みんなのページ 編集後記	24ページ

令和4年度補正予算専決処分

5月臨時会 令和4年度補正予算専決処分(概要)

【一般会計補正第12号】 +182,727千円

歳入

- 村税 +53,000千円
- 地方交付税 +141,411千円
- ふるさと納税附金 +17,600千円
- 公共施設等維持整備基金積立金 +300,000千円
- ふるさと納税等寄付金基金積立金 +200,000千円

歳出

- 【国民健康保険特別会計補正第4号】 △37,649千円
- 【後期高齢者医療特別会計補正第1号】 +1,929千円
- 【介護保険特別会計補正第4号】 △29,880千円

※審議の詳細はP4にて

5月臨時会 令和5年度補正予算(概要)

【一般会計補正第1号】 +73,100千円

歳入

- 辺地債 +73,100千円
- ・壬生沢線改良工事用

歳出

- 新設道路改良費 +80,000千円
- 早期補助金確保のため



- 観光費 +1,000千円
- ・南信州リゾート株出資金 20株×50,000円

【水道事業会計補正第1号】 起債の内訳を変更
(1,000千円を辺地債へ)

・水道管更新工事用

※審議の詳細はP4にて

【一般会計補正第2号】+187,159千円

歳出

＜商工費＞

- コロナ臨時交付金 物価高騰対策商品券
- // エネルギー価格高騰
- ＜農林水産業費＞
- コロナ臨時交付金 飼料価格高騰対策支



＜教育費＞

- 給食費保護者負担軽減補助+16,000千円
- ・保護者は4割負担に軽減 ↓



【国民健康保険特別会計補正第1号】

【一般会計補正第3号】

歳出

＜災害復旧費＞

- 6/2-3梅雨前線豪雨災
- 災害復旧費+212,400千円

- ・災害復旧申請57カ所
- 他 土砂崩落等多数
- ※審議の詳細はP5にて

承認と令和5年度補正予算を可決

6月定例会 令和5年度補正予算(概要)

- 配布事業 +35,700千円
- 支援事業 +14,000千円
- 援事業 +8,000千円



＜土木費＞

- 緊急自然災害防止対策事業(河川) +42,500千円
- ・5カ所の河川と排水路

＜民生費＞

- コロナ臨時交付金 価格高騰支援給付金 +14,125千円
- (住民税所得割非課税世帯)
- ↓
- ・1世帯25,000円を給付



+86,436千円

※審議の詳細はP8にて

6月定例会 令和5年度(追加)補正予算(概要)

+272,980千円

＜土木費＞

- 道の駅レストラン
- 改修費・備品購入費 +11,700千円
- ・ビュッフェスタイルに変更

- 緊急自然災害防止対策事業
- ・壬生沢線舟平 +61,000千円



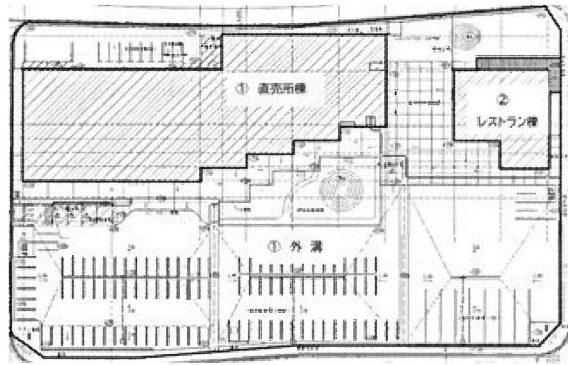
改選後の公約実行、コロナ対応、生活応援、災害対応、観光拠点施設整備等
一般会計予算第2号 1億8千百万円他
道の駅関連議案等、委員会報告を受け慎重審議

6月定例会 再開日の主な内容と質疑、討論を報告します

6月22日 再開日 4議案が追加され、6件の議案を全会一致で可決
教育関係の請願2件を可決しました。(請願関係の委員会報告は10ページへ)

議案第43号 令和5年度豊丘村一般会計補正予算 第2号
個人の生活や事業者支援など、広く配分されている。公約の学校給食費保護者負担分の6割が7月から助成される。観光協会は事務所を増設し、自転車柱とした観光振興で里山、農山村の環境とくらしを楽しみ、元気になる取り組みを期待する。その担い手として地域おこし協力隊募集委託料が計上された。豊丘村を第2のふるさととして共に暮らしてける仲間を応援したい。(委員会質疑は8ページへ)

議案第46号 令和5年度豊丘村一般会計補正予算 第3号
レストラン事業関連予算及び緊急自然災害防止対策事業の追加



道の駅 指定管理区分 (令和5年7月1日～令和10年3月31日)

質疑 今回の提案は、コロナ禍であったとしても驚く内容。村民は代表する大株主の村は、どのように経営会議に臨んでいたか。

村長 開場後5年間、順調に経営結果を残していた「道の駅」だが、昨年9月にシェフが退職した後も、シェフが残したレシピ等で職員も頑張っていたが、経営赤字を出す事態となり、村として現在のままでの再建は不能と判断。観光協会に経営をお願いし、ビュッフェスタイルを計画。施設改修後、8月にはオープンできるような頑張っている。

質疑 豊かな丘の社長の責任はどう考えるのか。

村長 事態の報告を会社から受け、大株主として村が対応し、考えた結果です。

賛成討論 村は、大株主として経営権を持つ

ている。今後の経営にあたり、村の裏には村民が、村民を代表した議員がいることを理解し、意見を聞いてほしい。

議案第49号 令和5年度豊丘村ケーブルテレビ伝送路等撤去業務(村内全域) 請負契約の締結について
契約相手 ㈱飯田ケーブルテレビ
金額 3113万円

質疑 対象戸数をどのように考えているのか。

総務課長 今回の工事に対象戸数の概念はなく、同軸ケーブルや柱数を計上しています。

質疑 今回の工事は、宅内の配線が残るが、その対応はどうするのか。

総務課長 引き込み線が残っている住宅については調査し、保安器までの分は別工事で広報係が対応します。

**リニア新幹線
建設工事に伴い**

村道壬生沢線 道路改良費に8千万円

緊急の令和5年度一般会計補正予算第1号

5月臨時会 改選後の議会構成決定の後で

議案2件、専決処分承認案件6件を全会一致で可決、承認しました。主な内容と質疑を報告します。

質疑 壬生沢線の工事の関係者への同意は得られているのか。また、関係する地区への説明は行っているのか。

総務課長 個々の交渉はJ.Rが行う。関係者への同意はこれから。壬生沢区と小園地区への説明は来週行う。

質疑 予算要求する際、関係者の同意を得るのが普通で、村で計画したから予算に盛るのは違うのではないのか。

総務課長 関係する地権者・地域関係者への説明は済んでいます。

承認第2号 国民健康

専決処分案件

承認第1号 村税条例等の一部改正
概要 令和5年度地方税に関する税制の改正による村税条例の一部改正。

承認第2号 令和4年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算 第4号

承認第5号 令和4年度豊丘村後期高齢者医療特別会計補正予算 第1号

承認第6号 令和4年度豊丘村介護保険特別会計補正予算 第4号

承認第3号 令和4年度豊丘村一般会計補正予算 第12号

承認第4号 令和4年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算 第4号

承認第5号 令和4年度豊丘村後期高齢者医療特別会計補正予算 第1号

承認第6号 令和4年度豊丘村介護保険特別会計補正予算 第4号



拡張される村道壬生沢線

議案第37号 令和5年度豊丘村水道事業会計補正予算第1号
主な内容 起債の限度額を改める。

定例会開会日
令和5年度補正予算2議案を予算決算委員会に付託し、その他の議案6件、同意案件1件を全会一致で可決・同意しました。また、2件の報告をお聞きしました。

議案第38号 豊丘村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部改正
趣旨 ①有線放送施設運営審議会を廃止し、豊丘村地域情報通信事業運営審議会を設置②新規に豊丘村農業・農山村振興会を設置

議案第39号 豊丘村有線放送施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
要旨 タブレット端末の利用料、お知らせ、広告等の手数料の改正

議案第40号 国民健康保険条例の一部改正
内容 令和9年度国保税率県下統一を勘案した、令和5年度国保税率の改定

議案第41号 豊丘村家庭の保育事業等の設備及び運営基準を定める条例の一部改正

議案第42号 豊丘村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定

める条例の一部改正
趣旨 41・42号議案とも、こども家庭庁の設置に伴い、主務大臣が厚生労働大臣から内閣総理大臣になる改正。

議案第45号 令和5年度水道管更新工事(伴野地区1-1工区)工事請負契約の締結契約相手 木下建設(株)
金額 6000万円

同意第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
委員 片桐明(中平)

報告第1号 令和4年度豊丘村一般会計繰越明許費繰越計算書(10事業)2億9600万円を5年度に繰り越す。

報告第2号 令和4年度豊丘村一般会計事故繰越し計算書について(林道間沢川線改良事業) 本工事に入る前に必要な落石防止対策に不測の期間(4カ月)を要したため5年度まで繰り越す。

新たに一般社団法人 豊丘村観光協会を指定管理者に

レストラン棟指定管理者の要件とは

道の駅レストランの設置目的を理解し、農業及び観光振興、
小さな拠点運営等の行政課題を村の代行として解決を目指すもの

新たなレストラン棟管理者に観光協会を指定する理由 観光協会は「農業振興」などの地域課題を観光により解決することを目指す。道の駅レストランの設置目的と合致。事業のコンセプトや人材等において適切な事業推進が期待できる。直売所棟・外構の管理者に豊かな丘を指定する理由 直売所運営等その他の事業では業績は好調。第6期の来場者数は前期比増6・9%増で1001万人、レジ売上高も増加。安定した管理を継続できる財政状況と体制にある。質疑 二者が指定管理となる。どちらが駅長を担うのか。産業振興課長 これまでどおり豊かな丘へ依頼したい。



近隣のビュッフェスタイルのレストランの事例
(上田市 常盤城ガーデン)

観光協会が計画しているレストランの存在意義・経営理念(観光振興係長の説明)
「レストラン業務により農産物の価値を上げる6次産業化による農業振興」、「村内農家から野菜を仕入れることにより、出荷出口をつくり、野菜生産者を増やすことで、農地を守り農業振興に寄与する」とこととし、「市場(豊丘村)の中にある超新鮮野菜を提供するビュッフェレストラン」をコンセプトとする。

質疑 ビュッフェ方式は当初とらなないとしていたが採用した理由は。産業振興課長 多様な農産物の提供、生産者の多品種少量栽培にも適していると考えられる。また、団体客の受入にも有効と判断。質疑 混んでいるレストランは「安い」「うまい」。加えて地元客の固定客。構想に期待している。産業振興課長 価格設定は未定。満足しているかどうか。質疑 小上がりはビュッフェ方式になじまないのではないか。観光振興係長 小上がりについては検討したい。

質疑 豊かな丘へ一口一万円で出資した方へ、会社から割引券を配布していたが、今後とも継続できるのか。産業振興課長 豊かな丘との調整もあるので検討したい。レストラン事業移行に伴う関係予算は総額1650万円。内訳はレストラン休業中の従業員の人件費等準備金400万円、ビュッフェスタイルとするためのレストラン施設改修費400万円、厨房備品等購入費700万円など。質疑 レストラン従業員は、人件費等準備金の予算化前に、すでに観光協会へ入職している。村は予算を進めるのに、後付け予算で良いのか。こういった場合の位置づけが大事ではないか。産業振興課長 前もって予算化できればよかった。私どものミスだ。

道の駅 レストランのこれから 指定管理は？ 再開は？ 道の駅特別委員会にて真意を明らかに

2023.5.15
レストラン
「kitchen そらら」
閉店のお知らせ

道の駅特別委員会 委員長 前沢光昭

6/16 (金)
道の駅は開設以来、株式会社豊かな丘(現在、代表取締役 片桐明氏)が、道の駅施設全体の指定管理を受け運営してきましたが、レストラン事業撤退の申し出を受け、村からレストランと観光案内所が入るレストラン棟を一般社団法人豊丘村観光協会(代表理事 下平喜隆氏)に、それを除く施設を株式会社豊かな丘に指定管理させる提案があり、特別委員会が審査を行いました。審査の内容を報告いたします。(議案の概要はp5参照)。

業撤退を告げる。
2月13日 臨時議会 全員協議会にて経過説明、今後の方針を報告。
3月1日 議会定例会「道の駅指定管理者の指定期間の変更について」上程、可決。(次の指定管理者の選定、業務移行期間が必要のため、豊かな丘の指定管理期間を6月30日まで延長)
豊かな丘のレストラン事業は、前シェフにマネジメントを含む運営の全てを任せ、その尽力により運営基盤を築き、順調に経営されてきた。半面、全てをシェフに委ねてきたことは、悪い意味では現場への丸投げであり、シェフ退職後においても、そのような状態が続く要因だったと考えられる。会社のマネジメント機能を失ったレストラン事業は下降線をたどり、これ以上の指定管理の継続は難しいと判断した。
また、豊かな丘から提案されたレストランのテナント化については道の駅設置の当初の目的である農業振興から外れることから不可とした。
質疑 撤退は今後もありうる。豊かな丘の申し出は妥当だったか。産業振興課長 豊かな丘との指定管理期間の満了の時点であり、今回は妥当であったと認識。
質疑 レストラン事業の撤退は、どのくらい議論されたのか。村長 行政だけでは素

人で民間の力が必要と考えていた。シェフ退職後も、従業員で努力されたが難しい事はわかっていった。財政負担のないテナント化も考えたが、考え直し、レストラン事業を豊かな丘から切り離し、新たなスタートを選択した。
質疑 豊かな丘は、レストランスタッフの人件費はどう考えるのか。
産業振興課長 レストランスタッフは、別部門で雇い続ける予定だった。結果的に従業員各自の意思により、豊かな丘を退職し、観光協会へ入職した。
質疑 今後、村から豊かな丘へ人件費を補填することは無いのか。
村長 経営努力でできることは、やるだけやるが、



屋根つき広場のにぎわい

補助金で補填することもありうる。
質疑 事業撤退は豊かな丘にレストランを立て直す能力がなかったということなのか。
村長 誰にもなかったというのが正直なところ。シェフ中心に動いてきた。残った者で一生懸命やったが難しかったというところ。レストラン経営のノウハウをもった者もいなかった。

国民健康保険税条例の一部改正

6/2 梅雨前線豪雨災 被災箇所を視察

総務産建委員会

委員長 武田 徹

6月定例会の重要案件の一つである国保税の改正条例が上程され、総務産建委員会に付託され、6月1日の開会日に審査されました。審査については、事業実施の関連もあるため社会文教委員との合同審査で行われました。

今回の改正条例では被保険者にかかる世帯別平等割（医療分）の改正、後期高齢者支援金課税額の所得割、均等割額の改正（支援金分）介護納付金課税被保険者に係る所得割、均等割、平等割額等を改正し、令和5年4月1日から適用しようとするもので、審査では全会一致で可決となりました。

質疑では、国保運営協議会においての意見はとくに理解頂いている。予備費の使用基準はあるのかとの質

問に対し、不足分に充当しており基準は設けていない。令和9年までに県統一水準に向けての引き上げの根拠は対して、統一するためには各自自治体の努力が必要であり、当村においては負担増となる。また、医療費の

抑制には保健師等の健康指導による努力も一因であるとの回答があった。

採決の結果賛成5、全会一致で可決となりました。本会議においても全員賛成で可決となりました。

委員会では、20日の午前中に、村関係者、社会文教委員、竹村県議も同行して壬生沢西の被災箇所、福島線風除地籍の被災箇所、福島区の追分地籍の被災箇所を視察した。今後は、復旧に向けての調査や査定を受けて被災箇所の復旧工事が進められます。

梅雨前線豪雨災

村内57ヶ所が被災

県関係も7ヶ所

6月20日の委員会で、この6月2日の梅雨前線豪雨により、被災した箇所の視察を行いました。6月2日午前0時から6月3日午前6時までの連続雨量は、194mm、24時間雨量は、176mm、時間最大雨量は27mmに達し、公共土木施設10箇所、農地農業用施設23箇所、林道4箇所の補助災と、単独災20箇所、土砂除去・路面整備65箇所に被害があり



千駄木（風除）



壬生沢線（壬生さん宅下）

小中学校給食費、7月分から保護者負担4割に 生活応援商品券、村民一人あたり5000円（商品券）配布

予算決算委員会

委員長 酒井 浩文

令和5年度一般会計補正予算第2号および、国民健康保険特別会計補正予算第1号は、6月1日の定例会開会日に予算決算委員会に付託され、6月16日の委員会で全委員の出席で審査しました。村長選を終え、公約を反映した事業予算が盛り込まれ、すべての予算が全会一致で可決されました。一般会計の主な質疑を報告します。

地域おこし協力隊ほか
質疑 道の駅事業の広告料、地域おこし協力隊事業委託費とは。
産業振興課長 観光協会に勤務する協力隊を募集するための広告料と民間業者への委託費。
質疑 募集する隊員の配属先は。
産業振興課長 観光協会のガイドツアー事業の補助として。将来は協会のプロパー職員として考えている。
質疑 防災行政情報配信アプリの写真投稿機能とは。
総務課長 主に区の役員、消防団員の皆さんに協力していただき災害発生時の現場状況を投稿していただく。
要望 運用方法のルー

ルを決めてほしい。
質疑 コミュニティ事業助成金の使途は。
総務課長 村内1区2自治会（堀越・地藏道・中部）
集会所のイスとテーブル。
がん患者支援ほか
質疑 アピアランスケア助成とは。
健康福祉課長 がん患者さんの社会参加を外見的なケアにより支援する助成。
質疑 埋め立てビッド安全施設工事、調整池フェンス工事とは。
建設環境課長 北の沢最終処分場の設備と施設改修。
質疑 新型コロナウイルス接種システム保守委託料とは。
健康福祉課長 コロナナ

ワクチン6・7回目対応に係る電算システム改修費。
質疑 橋梁点検など
質疑 林道橋梁点検診断の対象と件数は。
建設環境課長 5路線、21橋。5年に1回点検をしている。今回3回目の点検。
質疑 ライフライン等の保全森林整備とは。
建設環境課長 危険木の伐採を行う事業。落ち葉を少なくする目的もある。
事務所を増設
質疑 観光協会事務室増設工事では、省エネ対策設計をされているか。
産業振興課長 設計業者と検討し対応する。
落葉除去など
質疑 主要幹線道路、

側溝等落ち葉除去委託は十分対応できるか。
建設環境課長 バス路線全線を実施する。当初予算を倍増した。
質疑 落ち葉除去は何回、いつ頃行うのか。
建設環境課長 年1回12月上旬ごろ実施。その他の時期は各自自治会で。
質疑 道の駅従業員駐車場のネット張替工事とは。その目的は。
産業振興課長 道の駅東側の駐車場のネットの張替え。道路と駐車場の境界線。
質疑 鉄製にしないのか。舗装はしないのか。
産業振興課長 当面は現状で管理する。
要望 耐久性のある管理が望ましい。
水防施設を解体
質疑 万年橋西側水防倉庫解体工事費の詳細を。
総務課長 区の要望で不要な倉庫2棟を撤去する。

質疑 撤去される備品は。今後どうなるのか。
総務課長 必要な備品は河野区民会館に備蓄してあるので心配ない。
とよおか元気塾
質疑 とよおか元気塾の講師謝礼50万円の支払いは1回か。
教育委員会事務局 1回分の謝金。今回の講師が遠方から来られるのでその交通費を含む。山本先生へのお礼も含む。
コロナ臨時交付金
質疑 コロナ臨時交付金1世帯25,000円の給付対象は。
健康福祉課長 国の交付見込みでは対象は住民税非課税世帯1世帯30,000円であるが、村は住民税所得割非課税世帯に拡充して一律1世帯25,000円交付。

一般質問 —10人の議員が村政を問う—

【1日目】

1. 唐澤 克己 (12 ページ) 1) 森林経営管理制度の基づく山林整備の進展状況について
2) 村内の学校における部活動の「地域移行」について
2. 武田 篤子 (13 ページ) 1) 火災警報器について
2) ごみ分別について
3. 前沢 光昭 (14 ページ) 1) 消防団活動の改善方向について
2) 地域の防災対策について
4. 唐澤 健 (15 ページ) 1) 介護保険制度の課題について
2) 地域で安心できる介護について
3) 酪農経営の危機について
5. 平澤 恒雄 (16 ページ) 1) 村営ケーブルテレビ等の移行状況について
2) 信州防災アプリの利用促進について
3) 健康ポイント事業について (フレイル予防)
6. 酒井 浩文 (17 ページ) 1) 中学校部活動地域移行の進捗と実現について

【2日目】

7. 堀本 丈文 (18 ページ) 1) 滝川自治会に山間地域と同様の支援の検討について
2) リニア開通に向けて、都市部に積極的な移住定住の発信について
3) 昭和50年に制作した貴重な村の記録の「村誌」その後の記録のまとめについて
8. 武田 徹 (19 ページ) 1) 豊丘村消防団の現状と自主消防組織について
9. 壬生真由美 (20 ページ) 1) 林原公園フィールドアスレチックについて
10. 吉川 明博 (21 ページ) 1) こども基本法の施行について
2) 令和5年度の予算について

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・ 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・ 1 議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・ 発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・ 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。

～本会議より付託の学校関係請願2件を審査していずれも採択～ 少人数学級の推進を！へき地手当は他県並みに支給を！

社会文教委員会

委員長 唐澤 克己

請願1

(内 容)

国の次年度予算編成で次の事項が実現するように、国会、政府、関係省庁に豊丘村議会から意見書を提出してほしい。

① 国の責任で教育予算を増額し、単式学級においては30人以下の学級を実現し、複式学級においては学級定員を引き下げる

② 義務教育費国庫負担制度を維持し、国の負担率を2分に1に戻すこと

(解説)

①については、現行の国の基準による学級定員は、小学校のみ35人で中学校は40人。

6月19日に社会文教委員会を開催し、6月定例会本会議で当委員会に付託された請願2件を審査しました。いずれの請願も豊丘村学校教職員組合から出され、教育関係の改善を目指すもので、審査した結果、2件とも全会一致で採択しました。

複式学級では小学校は1学年を含む場合のみ8人で他は16人。中学校は8人。社会が激動する中で、生徒一人ひとりに合わせた指導をするには、学級定員を少なくしてほしいとの趣旨。

②については、小中学校の教職員の給料支払いに関する制度で、2006年に国の改革で、国の負担率が2分の1から3分の1に減り、逆に地方(都道府県)の負担率は3分の2に増えた。元に戻してほしいとの趣旨。

(審査結果) 全会一致で請願を採択

請願2

(内 容)

県の次年度予算編成で次の事項が実現するように、長野県の知事と議会に豊丘村議会から意見書を提出してほしい。

① へき地における教育水準の向上を図るため、へき地手当及びへき地に準ずる手当を2005年以前の定率に戻し、近隣県と同率にすること

(解説)

へき地勤務に関する手当は、「へき地教育振興法」に定められていて、静岡県など近隣県は国の基準で支給されているが、長野県では2006年に方針を変え、1級地8%を1%にするなど大幅に減額した。そのため、へき地教育に支障が出ているので元に戻してほしいとの趣旨。

(審査結果) 全会一致で請願を採択

『議会・議員といどばた会議』



日頃感じられること、気になることなど、気楽に、議員と話しませんか
いつでもどこにでも 伺います
【連絡先】

議会事務局 ☎ 35-9063



(広報広聴特別委員会)



火災警報器の電池交換などの対応を

答 高齢者世帯など対応を前向きに検討

武田 篤子 議員



火災報知器の
電池寿命の目安は 10 年

質問 2011 年に、全ての住宅への設置が義務づけられた時、村として設置への補助や、高齢者世帯などの対応はされたのか。

総務課長 独り暮らし高齢者、高齢者世帯、独り暮らし障害者などの世帯に村で購入した火災報知器を 1 基貸与する形で設置した。

質問 独り暮らし老人や高齢者世帯などへの設置状況について、村として把握しているのか。

健康福祉課長 平成 29 年度から現在まで、介護保険係や調査員が訪問の際の調査項目として設置状況の確認を実施している。

総務課長 広報誌「防災行政アプリ」などを活用している。約 1 割の世帯が未設置の状態。

質問 ほぼ、すべての住宅の火災警報器で 10 年以上経過している。電池交換、買い替えの時期がきている。警報機の電池替えや、買い替えについてどのような対応をとっているのか。

総務課長 消防団の火の元点検の際、設置の状況を確かめ未設置の場合は設置をお願いしているのみの状況。

提案 広報などを通じて、村民の方へ買い替えや、電池交換の啓発を行っている。

総務課長 広報誌「防災行政アプリ」などを活用している。

質問 燃やすごみの量の変化、ごみ出しのモラルなどについて伺う。

建設環境課長 廃プラスチックや古着が、資源ごみから燃やすごみへ変更になったことで、平成 29 年度以降増加傾向にある。そのうち 13% ほど燃やすごみ

について、電池交換や買い替えの対応を村として考えられたい。

村長 高森消防署とも協力、連携し、点検や電池交換、状況により更新など、村による対応を前向きに検討したい。

建設環境課長 秋頃には、広報、ライフビジョンなどを通じてお知らせをしていく。アプリは、ガイドブックが手元になくても分別区分やごみ出し日程の確認ができる。令和 6 年 4 月から活用できる予定。

提案 分別が分かりづらいごみについて、クイズ（とよおか祭りや環境係の方が作られたようなもの）を、広報などに継続して載せていき、村民の、ごみの知識向上を、図ってほしい。

建設環境課長 プラスチック製品の、分別の見直し作業が確定したところで対応を考えていく。



森林経営管理制度の進展状況は

答 今年度は田村の意向調査、北洞等の整備実施

唐澤 克己 議員

質問 森林経営管理制度は我が国の温暖化防止対策の最重要施策である。その村内での進展状況を問う。財源となる森林環境譲与税は、制度開始以来どのくらい村に配分され、また、今後の村への配分額の見通しは。

産業振興課長 令和元年度 34 万 4 千円、23 年度 49 万 9 千円、45 年度 68 万 9 千円、6 年度からは 79 万 2 千円の見通し。

質問 譲与税による今年度の事業実績は。

産業振興課長 令和 2 年度に堀越と河野の意向調査で 106 万 4 千円、3 年度に三次原等の詳細設計で 123 万 4 千円、令和 4 年度に三次原の山林整備で 165 万 4 千円、中学校周辺の里山整備にも出費している。

質問 今後に具体化している計画等は。

産業振興課長 今年度中に田村地域の意向調査や詳細設計を実施。山林整備では北洞等三箇所と中学校周辺も予定。また、地元地域と連携して幹線道路沿いの樹木整理も計画。

質問 「政府部内では今までの市町村別の配分額を再検討する」との意見も出ている」と聞く。当村としては、配分額が増せば整備を加速できる余地はあるか。

産業振興課長 事業が軌道に乗れば譲与税の今の支給額では不足。また、村士の 8 割が山林で、樹木も伐期を迎えており事業の加速は必要。しかし村には専門職がないので大幅な事業の加速は難しい。

質問 制度を実施上、村として最も苦労していることは何か。

産業振興課長 山林整備の専門技術職がいないうえ、その都度県の林務課や森林組合等の指導を求めている点だ。



間伐等整備が進む山林（三次原）

質問 国では今年度より 3 年間で「改革推進期間」として学校部活動の「地域移行」を進めている。村内学校の運動部における状況は。

教育長 国の方針を受け、県や近隣市町村及び関連する組織団体とともに研究検討を重ねてきた。村では、昨年 10 月にスポーツ推進審議会にて相談し、また、豊丘中学校スポーツ文化等運営委員会でも検討している。さらに、生徒や保護者への理解を深めるために県教委のチラシを配布した。休日の部活動を学校ではなく地域で行う体制を現在構築中である。

質問 文化部における「地域移行」の状況は。

教育長 文化部では吹奏楽が対象だ。昨年 10 月のスポーツ推進審議会において吹奏楽の外部指導者を委員に加えて検討している。

質問 部活動の「地域移行」に関し、課題は。

教育長 今まで部活動を学校教育の一環としてきたが、学校単位での維持継続が困難になった。課題の第 1 は、受け皿となる地域組織を村内に限るか広域にするかだ。第 2 は、教育の観点からも適切な指導者の確保が可能かどうかだ。その育成も視野に入れる必要がある。第 3 は、活動場所の確保や活動に使用する施設等の管理をどうするかだ。第 4 は、地域移行すれば保護者の金銭負担も増すが、どう対処するかだ。外部指導者への報酬も含め、予算計上の必要もある。

学校部活動の「地域移行」の状況は

答 休日の運動部及び吹奏楽部の移行体制構築中



介護士確保の支援を

答 公平性から厳しい

唐澤 健 議員

質問 介護施設において、介護士を通常の募集でかまわず、なかなか集まらず、人材センターから派遣で雇用する場合、費用が増加します。こういうことに対して村も援助してはどうか。

健康福祉課長 提案の人材センターの援助費負担につきましては、他業種でも人材派遣を受けている事業所もあり、村外の介護事業者との公平性から見ても大変厳しい。

質問 介護保険料は少子高齢化の中で増額は耐え難くなる。今後、一般会計からの支援がなければ介護保険料の増額が避けられない。今後の展望は。

村長 介護保険料の算出については、国・県・村・保険料での配分が明確に決められており、国の方針で、



各市町村からの一般会計からの繰り入れとい

質問 酪農経営が今危機的な状況にあって、中央酪農会議の調査でも85%の酪農家が赤字で、6割が廃業を検討しているという結果が出ています。豊丘の酪農家の話では、飼料代の値上がり分だけで1000万円になるというふうに話されておりました。本議会での補正予算では、一農

うような形は認められていません。

質問 固定観念を破る考えも

家で成乳牛1頭当たり2万円、肥育牛も含めて上限300万円が上程されていますが、さらなる検討が必要ではないか。

産業振興課長 酪農経営を取り巻く状況は、生乳の生産調整が行われており、それに加えて、飼料価格の高騰や物価高騰が重なって、大変、厳しい状況にあります。このことから村では、国からの価格高騰重点支援地方交付金を活用しまして、村内の畜産事業者に対して、飼養頭数に応じて支援する飼料価格高騰対策支援事業を本定例会の補正予算にて上程しています。これにより、酪農経営における飼料価格の値上が



り分の4分の1程度を支援できるものと推計しております。国等からの補助額と合わせ値上がり分の半分を超える程度の支援ができるものと推計をしています。引き続き、継続して状況を確認する中で、適時適切な支援ができるよう取り組んでまいります。

質問 酪農だけでなく、米の生産においてもなかなか厳しい状況で、本当に米の生産もこのまま続けられるのだろうかというような新聞報道もあり、そういう点も含めてこの酪農も含めて農業支援について

村長 酪農の関係につきましては、今までと同じ酪農が続けられなくなるという、社会的なパラダイムシフトが迫っていることもあるかと思いますが、そういう中である意味あまり傷を大きくし過ぎる前



消防団活動の改善方向について

答 今後の方向を慎重に考えたい

前沢 光昭 議員

質問 消防団の団員数は、条例定数の180名を確保できない状態が続いている。勤務形態や、共働きが増え、家庭内での役割も変化し、消防団活動で毎晩家を空けることが当然ではなくりました。こうした社会情勢の中で、操法大会訓練などは負担となり、入団の誘いを断る理由のひとつとなっています。団員数の不足は深刻で、通常の活動、火の元点検にも支障をきたしています。

負担軽減のため、毎年飯伊で行われる操法大会は出場を取りやめたいのか。基本操作を覚えるための活動があればいいのではないか。

村長 この問題では上伊那を中心に操法大会に参加を取りやめる消防団があることはこの町村もわかつてい

団員の負担を軽減するために、練習については昔のように長期には実施せず、大会前の1カ月と決めていて。毎年団本部と分団幹部で協議して調整している。

今年度の飯伊大会については、これまでは2チームが出場していたが、1チームのみにして、団員の負担軽減に配慮している。

質問 飯伊の操法大会となると、消防団からは言い出しにくい。行政側から飯伊の消防協会へ働きかけてもいいのではないか。

村長 団員の中にもいろいろと意見がある。行政からはいきなり「やめろ」とは言えない。村の大会の出場チームも減っている。分団幹部も操法訓練は重要と認識している。仮に出場を取りやめても、なんらかの操作訓練は必要で、今後の方

向を慎重に考えたい。

質問 近年は想定を上回る大規模な災害が特徴で、最近では2019年の台風19号や翌年の梅雨時の長雨が記憶に新しい。

豊丘村においても、その後も災害は出ているが復旧はどこまでできているか。

建設環境課長 豊丘村では19号台風は東にそれて大きな被害は出ていないが、翌年の梅雨前線豪雨では多く被災した。土木関係、農地・農業施設関係、林道の合計215カ所によったが、翌年に全て復旧が完了している。先週の梅雨前線豪雨については、合計160カ所で被災し、早期に復旧できるよう進めていきたい。

質問 災害時に福祉避難所で停電や浸水で機能不全に陥らないよう対策が必要だが防災計画に含まれているか。



大きな傷跡残した台風2号

総務課長 福祉避難所の防災対策は施設側と協議しながら支援を行っている。防災計画にも定められている。

地域に防災士の養成を

答 一つの方法として検討したい

質問 阪神・淡路大震災の教訓で地域に防災リーダーを養成しようと、全国防災士機構という団体が作られている。民間のボランティア団体であるがここで講習を受ければ防災士の資格が取ることができる。

消防団活動に限界もある中、地域の中で取り組んでみたかどうか。

総務課長 防災リーダーの育成については必要と認識している。防災士機構を活用した防災リーダー養成も一つの案。高森町では資格取得の補助も行っている。喬木村でも検討中と聞く。一つの方法として検討したい。



中学校部活動地域移行の進捗は

答 課題を見極め進めている

酒井 浩文 議員

質問 飯伊地区における状況は。
教育長 昨年度より、飯伊市町村教育委員会連絡協議会で、エリアごとの事情に合わせた地域移行の実現に向けた検討を始めた。また、中学校・教育委員会・PTA・スポーツ団体・指導者による飯伊地区ジュニア期のスポーツ活動検討委員会では、少人数のためチーム編成がでない種目の合同チームによる活動などの

飯伊地区全体で

方向性を検討

課題について検討をしている。5月には北部5町村の教育長、中学校長による会議を持ち、各地の進捗状況や、自治体・教育委員会の関わりについて情報交換を行った。いずれも長野県地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会の方針に沿いながら、各地域で足並みをそろえ進めている。

進む地域連携と

具体的な取り組み

質問 村がすべき支援と今後の展開は。
教育長 生徒の部活動の選択肢を保证するために連携と協力が必要である。村単位で完結するか、5地区で連携するか、また一気にな

部や各自自治体ごとにやるか、今後の検討による。早い段階で方向性を決め、予算を立て展開したい。具体的な取り組みとして、この夏休みに下伊那5町村で可能な種目ごとに分



中学校部活動の地域移行がスタートしました

部活動支援員を配置

質問 豊丘中学校区における状況は。
教育長 本年度から部活動支援員配置支援事業を活用し1名任用している。この制度は、本来教員が指導すべき

部活動指導を、教員に代わって支援員が指導・引率を行うため、生徒は質の高い指導が受けられるとともに、この種目担当の教員は、学校業務に専念できる。

人材配置やクラブへの委託も

質問 近隣市町村の具体的な進捗状況は。
教育長 今年度より、飯田市では地域移行を支援するコーディネーター職員を配置し、阿智村では地域移行に関

わる業務を総合型地域スポーツクラブに委託し進めている。いずれも県の方針の決定を待つて事業化、予算化の準備を進めている。



タブレット端末の配布で音声告知機能の維持を

答 今後はスマートフォンでの情報受信が主流となる

平澤 恒雄 議員

質問 村では有線加入者の移行先に、飯田ケーブルテレビを勧めてきたが、その結果はどうか。
総務課長 村営ケーブルテレビ加入者1660世帯の内、1450世帯（87%）が飯田ケーブルテレビの光キャストビジョンなどへ移行、残り210世帯は、コミュニティ光とテレビアンテナ設置に約半数ずつ移行した。後者210世帯は、村の自主放送をテレビ受信できないが、インターネット配信サイトで見ることができ

る。
質問 タブレット端末は、従来の音声告知端末に比べどのようなか。
総務課長 端末の音量を上げておけば、情報が配信された最初の1回だけ、自動的に音声がかえる。
質問 「タブレット端末を全戸に配布して、今までのような連絡体制を構築した方がよい」との意見があるがどうか。
村長 今後は、スマー

信州防災アプリでマイ・タイムラインを

防災訓練打合せ等で村民向けに説明する

質問 このアプリは、現在地の災害リスクや指定避難所までのルートなどが確認できるというが、どのようなか。
総務課長 長野県で構築されたシステムであり、その機能として、自分の避難計画であるマイ・タイムラインが簡単に作成できる。また、避難情報に応じてマイ・タイムラインが自動的に表示される。
質問 災害に備え、住民一人一人の避難行動を予め想定しておく必要がある。長野県の方

向に沿って、信州防災アプリを利用してマイ・タイムラインの作成を進めたらどうか。
総務課長 アプリ利用のマイ・タイムラインは、住民の防災意識向上につながる。自治会長が集まる防災訓練の打合せ会で、住民の皆様周知していただくようお願いをしたい。



コンセントを抜かれ撤去を待つ、有線放送の音声告知端末

健康ポイントでフレイル予防も

答 実施の自治体では効果の確認が難しいと

質問 飯田市では、筋力低下で要介護になる一歩手前の状態「フレイル（虚弱）」予防のため、ふれあいサロンへの参加などに応じて、健康ポイントを付与する。村の認識は。
健康福祉課長 飯田市の事業は、ふれあいサロン、総合事業B型通所サービス、高齢者ク

ラブなどへの参加を促す効果を期待するもの。当村では高齢者同士の誘い合いや、地域包括支援センター職員からの案内やお誘いを中心に行う。

質問 高森町で行っている、ウォーキングや健康診断などへの参加に対する健康ポイント付与も合わせた内容の事業とし、村民の健康活動を支援したらどうか。

村長 ポイント制度を行う自治体からは、効果の判断が難しいと聞く。当村は、健康診断や生活習慣改善の未受診者や、ハイリスク者への個別の関わりを継続するとともに、自治会で開催する健康学習会に取り組み





消防団危機的状況に

答 班の統合等による体制の縮小で対応している

武田 徹 議員

質問 消防団員の皆さんには、日頃の活動に対し敬意を表します。現在の状況として、各分団の団員数、機関数は、また、今年度末での最高年齢者の数はどうなっているのか。

総務課長 1分団が21名、2分団が22名、3分団が20名、女性班9名、本部、役場消防を含め87名です。機関班は3分団とも自動車班を含め3班体制まで縮小してきてしまっている状況です。年度末に定年を迎える33歳のとなる団員は15名、昨年定年を迎え、退団することなく団員のまま残っている方が1名います。

要望・意見 団員数の現状を聞き驚きと寂しさを感じます。村民の皆さん一人ひとりがこの現状に関心を持ち、地域、自治会、区も一緒に頑張って活動を行ってほしいと思います。

質問 消防団員の皆さんには、日頃の活動に対し敬意を表します。現在の状況として、各分団の団員数、機関数は、また、今年度末での最高年齢者の数はどうなっているのか。

総務課長 1分団が21名、2分団が22名、3分団が20名、女性班9名、本部、役場消防を含め87名です。機関班は3分団とも自動車班を含め3班体制まで縮小してきてしまっている状況です。年度末に定年を迎える33歳のとなる団員は15名、昨年定年を迎え、退団することなく団員のまま残っている方が1名います。

要望・意見 団員数の現状を聞き驚きと寂しさを感じます。村民の皆さん一人ひとりがこの現状に関心を持ち、地域、自治会、区も一緒に頑張って活動を行ってほしいと思います。

質問 消防団員の皆さんには、日頃の活動に対し敬意を表します。現在の状況として、各分団の団員数、機関数は、また、今年度末での最高年齢者の数はどうなっているのか。

総務課長 1分団が21名、2分団が22名、3分団が20名、女性班9名、本部、役場消防を含め87名です。機関班は3分団とも自動車班を含め3班体制まで縮小してきてしまっている状況です。年度末に定年を迎える33歳のとなる団員は15名、昨年定年を迎え、退団することなく団員のまま残っている方が1名います。

要望・意見 団員数の現状を聞き驚きと寂しさを感じます。村民の皆さん一人ひとりがこの現状に関心を持ち、地域、自治会、区も一緒に頑張って活動を行ってほしいと思います。

質問 消防団員の皆さんには、日頃の活動に対し敬意を表します。現在の状況として、各分団の団員数、機関数は、また、今年度末での最高年齢者の数はどうなっているのか。

総務課長 1分団が21名、2分団が22名、3分団が20名、女性班9名、本部、役場消防を含め87名です。機関班は3分団とも自動車班を含め3班体制まで縮小してきてしまっている状況です。年度末に定年を迎える33歳のとなる団員は15名、昨年定年を迎え、退団することなく団員のまま残っている方が1名います。

要望・意見 団員数の現状を聞き驚きと寂しさを感じます。村民の皆さん一人ひとりがこの現状に関心を持ち、地域、自治会、区も一緒に頑張って活動を行ってほしいと思います。

質問 消防団員の皆さんには、日頃の活動に対し敬意を表します。現在の状況として、各分団の団員数、機関数は、また、今年度末での最高年齢者の数はどうなっているのか。

総務課長 1分団が21名、2分団が22名、3分団が20名、女性班9名、本部、役場消防を含め87名です。機関班は3分団とも自動車班を含め3班体制まで縮小してきてしまっている状況です。年度末に定年を迎える33歳のとなる団員は15名、昨年定年を迎え、退団することなく団員のまま残っている方が1名います。



この一本に思いを込めて 今年の操法大会



滝川自治会に山間地域と同様の支援を

答 山間地区協議会にも意見を伺う

堀本 丈文 議員

質問 村は、「山間地域」と定義付けている地域に生活支援をしています。その定義を、滝川自治会に当て嵌めてみれば、村内の山間地域とは変わるところは無いと思います。村長は、滝川自治会の状況について、どのように考えていますか。

村長 滝川自治会の立地条件から考えると、山間地域と同様の支援をすることも大切なことと認識します。

質問 山間地域への支援事業はどのような事業がありますか。現状をお聞かせください。

総務課長 ①公共交通対策としてバス運行をしていますが、滝川自治会には夕方便以外の運行をしています。②住宅用地取得、住宅の新築・増築等の助成金ですが、20万円の山間地域加算があります。③山間地域への活性化交付金ですが、1世帯当たり1万5千円を地区に交付しています。④自らつくる地域づくり事業交付金の山間地区に交付しています。

質問 山間地域への支援事業はどのような事業がありますか。現状をお聞かせください。

総務課長 ①公共交通対策としてバス運行をしていますが、滝川自治会には夕方便以外の運行をしています。②住宅用地取得、住宅の新築・増築等の助成金ですが、20万円の山間地域加算があります。③山間地域への活性化交付金ですが、1世帯当たり1万5千円を地区に交付しています。④自らつくる地域づくり事業交付金の山間地区に交付しています。

質問 山間地域への支援事業はどのような事業がありますか。現状をお聞かせください。

総務課長 ①公共交通対策としてバス運行をしていますが、滝川自治会には夕方便以外の運行をしています。②住宅用地取得、住宅の新築・増築等の助成金ですが、20万円の山間地域加算があります。③山間地域への活性化交付金ですが、1世帯当たり1万5千円を地区に交付しています。④自らつくる地域づくり事業交付金の山間地区に交付しています。

質問 山間地域への支援事業はどのような事業がありますか。現状をお聞かせください。

総務課長 ①公共交通対策としてバス運行をしていますが、滝川自治会には夕方便以外の運行をしています。②住宅用地取得、住宅の新築・増築等の助成金ですが、20万円の山間地域加算があります。③山間地域への活性化交付金ですが、1世帯当たり1万5千円を地区に交付しています。④自らつくる地域づくり事業交付金の山間地区に交付しています。



当時各家庭に配布された村誌



こども基本法の施行について

答 分かりやすく丁寧に説明する

吉川 明博 議員

現状 こども基本法はこども家庭庁の創設と同時に施行されました。こども政策を総合的に推進することを目的として、こども基本法は議員立法で令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

①こども基本法の（第5条）に（地方自治体の責務）地方自治体は、基本理念にのっとり、こども施策に関し、国等と連携を図りつつ、区域内におけるこどもの状況に応じた施策を策定・実施する責務を有する」と規定されています。

②こども大綱の策定については、同法九条で「政府はこども大綱を定めなければならない」と規定し、同法十条で「都道府県は国のこども大綱を勘案し、こども計画を定めるよう努める。

また、市町村は国のこども大綱と都道府県のこども計画を勘案して、それぞれこども計画を策定する」とことが努力義務として規定されました。

③関係機関・団体等との有機的な連携の確保（第13条、第14条）地方自治体は、こども施策の適正かつ円滑な実施のため、こどもに関する支援を行う民間団体相互の有機的な連携の確保に努めること、また、連携の確保に資するための情報通信技術の活用などを講ずることが規定されました。こども施策の推進にあたっては、地域で支援を行っている様々な民間団体や民生・児童委員、青少年相談員、保護司等とのネットワークを強化し、市民社会との積極的な対話・連携・協働を図って

いくことが望まれます。

質問 国は政策の目的、子どもの年齢や発達の段階、実現可能性などを考慮して検討の結果、子どもの意見とは異なる結論が導かれることはあり得ると説明。反映する場合もしいない場合も、対応を分かちやすく示すことが望ましいとした。豊丘村ではどのようにするか。

教育長 行政として施策を決定する際、意見、要望に対して、施策の目的等を踏まえ、意見を寄せたお子さんの年齢、発達段階、実現の可能性などを考慮して、最善の利益を実現する観点から判断をしている。その結果、子どもの意見に沿う場合もあれば、沿えない結論になる場合もある。分かりやすく丁寧に説明することが基本になる。広報紙等で、広く意見募集の過程、判断を下し

た根拠、結果を導いた過程を示すことは、意見を寄せた子どもだけでなく、同年齢の子でも、他の子どもにとっても社会の仕組みを理解し、社会への関心を広め、政治の動きをするようになることともに、子ども自身が自ら権利の主体であることを認識するようになることを考える。

質問 私が所属する参政党の政治理念の筆頭に「教育は日本のリーダーを育成することだ。教育は、なんと言っても国の根幹です。今の学校教育に満足している国民が少なくない。みんな改善してほしいと思っています。教育をもっと自由化し、それぞれの地域でフリースクールはつくることができず、フリースクールの費用額は全て自己負担になります。そこに税金を投入してもらうようにすれば、

愛

令和5年度の予算について（議会のICT化制



老朽化したフィールドアスレチックの管理は

答 「使用禁止」表示を掲出している

壬生眞由美 議員



草に覆われ、老朽化したフィールドアスレチック

質問 林原公園フィールドアスレチックは昭和61年の開設後、広く利用されてきたが、現在は使用禁止になっている。禁止の経緯とその後について伺う。

教育委員会事務局長 平成28年秋の遊具点検で、その大半がC・D判定（使用禁止を推奨）となり、翌年2月に使用禁止とした。撤去費用400万円の予算のめどが立たず、自然な不朽を待つ。事故防止のため、使用禁止

表示を掲出。

質問 遊具の主部材は掘木で、不朽して土に還ることはない。一方で利用可能な鉄製遊具や東屋などがあり、立ち入ることができ。使用禁止表示も破損、飛散、あるいは草木に覆われている。この間の管理、村民の意見を聞くことなどの取り組みをされたかを伺いたい。

教育委員会事務局長 使用禁止の掲示の他は、立ち入り禁止の検

討や皆様の意見等を伺った経緯はない。

質問 平成28年度前後に中央保育園で行事が企画された。当時の保育士さんや、お母さん方から遊具や起伏のある林間で楽しく遊んだお話を伺った。

また、豊丘中学校全校182人の皆さんにアンケートに答えていただいた。施設が存在を知っていた生徒は、33人、内19人が利用したことがあるという。その時期は使用禁止後の、ここ2・3年以内の記述もあった。今後の対応をどう考えるか。

教育委員会事務局長 使用禁止表示を改めて行う。立ち入り制限の柵を設置することは現実的ではなく、事故発生の可能性は残る。早期に遊具の撤去を図ることが望ましい。

質問 管理の基本は安全第一だが、エリア全体をどう利用・管理し

ていくか。考えを伺う。

総務課長 周辺施設との整合をとり、教育委員会部局で方向を示すことが適切。

総務課長 公園管理の関係は教育委員会と土木係が担当だが、公共施設として長期的な計画を検討し管理することも大切な視点かと思う。庁内で検討したい。

質問 村内その他の公園を含め、計画的に管理していくことも必要ではないか。

総務課長 公園管理の

答 村民が参画する会の開催を検討したい

質問 施設は経年劣化し、撤去すべきものもあるが、使えるものはリメイクもできる。植生については、地元の方々の知恵を出し合い、方向性を見いだしてみたい。河野地区の生徒はアンケートの回答で、「このアンケートで存在を知った」「あるなら使ってみたい」といった意見もあった。急がば回れ。速回りのプロセスで得られたプランが、村民みんなに

教育委員会事務局長 村民参画による検討会、そこに専門の知識を持った方も参画していただく。あるいは中学生や小学生の皆さんのご意見等も聞く中で、新たな施設のあり方についての考えを持つ。今後、そのような会の開催を検討してみたいと考える。

いどぶき接骨院でリフレクシユを



河野区中芝地籍の「いどぶき接骨院」で院長を務められている竹下祥一さんをご紹介します。

〈豊丘村・河野へはいつから?〉

10年前に、八王子の村営住宅に入居し、そこで5年間生活をし、令和元年に現在の中芝に住宅と治療院を建て現在に至っています。豊丘村、それも河野が良くて探していたところ、現在地に土地を購入し住宅と治療院を建設し開業をしました。

この位置は、目標となる施設が目の前にあり、通院される方に場所を教えるのも助かっています。その意味でもこの地で開業できて良かったと思っています。

〈いどぶき接骨院の特徴は〉

特にスポーツの現場での応急処置等が多く、

その関係で、小中高校生などの学生の利用が多いです。また、酸素カプセルは全身の疲労感を取ってくれる機器で人気も高いです。

〈趣味や地域でやられていることは〉

私も柔道をやってきたので、現在では、高森中学校の非常勤講師として、柔道の授業を担当しています。

人と話すのが好きで特に体のことについての相談にも乗ることが多いようです。

〈村への要望は〉

接骨院も意外と水を使う事が多く、豊丘の水は蒸気残留物の影響で機器のメンテナンスに費用がかかり、水質の改善をお願いしたい。

また、竜神大橋の建設も大いに期待をしております。松川町や、高森町の方々が通院しやすいことも期待しています。

編集後記

6月2・3日の梅雨前線豪雨災害では、約200ミリ及ぶ雨量がありました。

村内では、災害復旧事業申請力所が57カ所、他多くの土砂崩落・流入があったことも報告を受け、それぞれの現場も確認しております。

被災を受けた皆様に改めてお見舞い申し上げます。

村は小規模な災害復旧のために、今回の補正予算にてリフォーム助成金での災害特別枠を設けました。

是非とも活用していただき、早期の復旧を望みます。

堀本 丈文

発行責任者

議長 片桐 忠彦

広報部会

部長 壬生眞由美

副部長 堀本 丈文

部員 武田 徹

部員 酒井 浩文

部員 唐澤 健

部員 井原 康明

みんなのページ

豊丘議会だより
第104号 6月定例会
令和5年7月20日

発行／長野県豊丘村議会
編集／広報広聴委員会広報部会
印刷／龍共印刷株式会社

豊丘村議会

検索

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村大字神郷3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp